

西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について

地区まちづくり実践企画書について、西脇市地区まちづくり実践補助金交付規程に基づき審査を行い、下記のとおり決定しました。

今年度の審査につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、公開プレゼンテーション及び審査部会は実施せず、前年度審査部会委員の方からいただいた意見を参考に審査を行いました。

記

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	総務部会	658,900	104,400	50
	文化部会	457,369	179,900	25・50
	体育部会	297,000	57,500	25・50
	環境保全部会	137,800	66,900	50
	事業運営委員会	400,000	0	0
	事務局	145,500	22,300	50
合計		2,096,569	431,000	
西脇区まちづくり委員会	環境部会	227,700	147,900	50・100
	生活情報部会	86,820	64,800	50・100
	地区整備部会	985,245	706,220	50・100
	事務局	420,050	131,080	25・50
合計		1,719,815	1,050,000	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
よいとちがうか 日野の里推進委員 会	農業体験交流	30,000	15,000	50
	日野っ子見守り隊	37,000	17,500	50
	納涼祭	250,000	80,000	50
	ふれあいフェスティバル	255,000	42,500	50
	桜保全事業	80,000	15,000	50
	安心安全のまちづくり	5,000	2,500	50
	美化作業	30,000	13,500	50
	遥拝登山	65,000	7,500	50
	運営費	60,000	29,500	50
合計		812,000	223,000	
重春まちづくり協 議会	頼政祭り	46,041	7,000	50・100
	景観作り	21,960	10,000	100
	矢筈山の整備	55,880	55,000	50
	歴史ハイキング	25,000	11,000	100
	広報発行	60,500	23,000	50
	事務費	10,000	4,000	50
合計		219,381	110,000	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
野村地区まちづくり推進協議会	まちづくり推進	605,000	186,700	25・50
	地域自治協議会立上げ準備	175,000	175,000	100
	文化祭	153,000	26,500	50
	秋祭り	654,000	72,000	50
	サークル活動	70,000	20,500	25・50
	長寿いきいき費	182,000	61,000	50
	広報費	635,000	317,500	50
	花いっぱい	50,000	45,000	50・100
	イベント	304,600	149,800	50
合計		2,828,600	1,054,000	
芳田ふれあい会議	代表者会議	250,000	20,000	50
	プロジェクト部会	607,000	601,500	50・100
	地域活性部会	148,000	106,500	50・100
	安心・安全部会	18,000	6,500	50・100
	イベント部会	135,000	39,500	50
	各部会共通	18,000	9,000	50
	その他	34,000	17,000	50
	事務局	90,000	20,000	50
合計		1,300,000	820,000	

まちづくり推進審議会委員からの意見について（一覧）

1 全ての事業に対する意見

委員からの意見	市の考え
<p>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で事業を中止する場合、その判断軸と中止に伴う発生費用の取扱い（損失回避の方法）について明確にした方が良いと思います。</p> <p>⇒ 例えば、「中止の場合、原則返還。ただし、不可避的に中止に伴う費用が発生した場合は補助対象とする」など、中止の場合の補助金の取扱いについて補助対象団体への事前のお知らせをお願いします。</p>	<p>事業の縮小又は中止の場合の補助金の取扱いについては補助事業団体と調整したうえで内容を精査し、交付の可否や額を決定する。</p>

2 各事業に対する意見

特になし

令和2年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業 企画概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 西脇地区コミュニティ活動推進協議会 【事業名】 西脇地区コミュニティ活動推進事業 【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31 【事業費】 2,096,569円 【交付要望額】 446,000円</p>	<p>区民によるコミュニティ活動を推進し、新しい地域的な連帯感に支えられ、近隣社会をつくるために、コミュニティ活動を展開する。</p>	<p>①総務部会 コミセンだよりの発行、コミセンかわら版の発行、コミセンバスツアー ②文化部会 コミセンまつり、区民カラオケ大会、リース教室、料理教室（2回） ③体育部会 グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操 ④環境保全部会 イルミネーション電飾、花のあるまちづくり、とんど焼き ⑤事業運営委員会 セントラルカーニバル</p>	<p>【事業効果】 コミュニティ活動の展開により、地域内の住民相互の交流を深めることができる。「とんど焼き」など、日本の伝統行事を実施することで、若い世代に引き継ぐことができるとともに、世代間交流の場ともなる。 また、高齢化率が市内ワースト1位の地区であることから、グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操を通じ、区民の健康づくりや介護予防の一助となり得る。 【今後の展開】 文化・体育及びレクリエーション活動のますますの充実と明るい地域づくりをおこなう。</p>	
<p>【団体名】 西脇区まちづくり委員会 【事業名】 西脇区まちづくり計画実践活動事業 【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31 【事業費】 1,719,815円 【交付要望額】 1,050,000円</p>	<p>自分たちの住む地区を少しでも良くしていこうと策定した西脇区まちづくり計画の実現に向け、小さなことでもできることから実践をしていく。そして、活動を通じて、希薄化するコミュニティの再生と安全で安心して住めるまちづくりを目指す。</p>	<p>①全体会 ・童子山公園整備、コミセンひろば整備 ・西脇多可新人高校駅伝大会ふるまい ②地区整備部会 ・大歳神社看板補修 ・ふれあい交流館の管理運営などの高齢化対策 ・手作りクリスマスツリー ・防災訓練 ・カレンダーの作成 ③生活・情報部会 ・あいさつ運動、しばざくら花壇の維持管理 ④環境部会 ・童子山わらべ滝周辺整備、花植え、童子山スケッチ、 犬のフン対策 など</p>	<p>【事業効果】 事業全体を通じて、小さなことでもできることから実施していくことで、「自分たちのまちは自分たちの手でよくしていく」という自立の精神と協働の中でのコミュニティの重要性を育むことができる。 【今後の展開】 まちづくり計画の実現に向け、できることから少しずつ進めていくことで、区民一人一人がまちづくりに対しての達成感や充実感などを共有できることを目標として活動を進める。</p>	<p>童子山公園整備に関しては、市の財産である童子山を区民の手で美しくすることにより、区民をはじめ市民に身近に感じてもらい、自然に触れられる場・憩いの場・安らぎの場になることを目指している。市のシンボルとも言える童子山整備に関しては、労力等については区民が協力して実施するが、事業実施に係る経費については2分の1を超えての補助金で賄えるよう要望する。</p>
<p>【団体名】 よいとちがうか日野の里推進委員会 【事業名】 よいとちがうか日野の里推進委員会事業 【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31 【事業費】 812,000円 【交付要望額】 223,000円</p>	<p>日野地区区長会をはじめ、日野地区内の多様な団体、グループ等が連携・協力し、日野地区住民の誰もが安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため、必要な事業を実施する。</p>	<p>①農業体験交流 日野小学校の児童を対象に、農業体験事業を実施 ②日野の里ふれあいフェスティバル コミセン日野地区会館で活動する団体・グループを中心に、書、絵画等の作品展や舞台発表、人権講演会等を開催 ③桜保全事業 日野地区のシンボルである「日野の郷地蔵一本桜」周辺の草刈保全作業及び「桜まつり」の開催 ④まちの美化清掃活動 ゴミ拾い等の清掃活動を行い、まちを美しく保つ取組 ⑤元旦遥拝登山 日野坂本線の峠にて初日の出を拝する その他、日野っ子見守り隊、納涼祭等の実施</p>	<p>【事業効果】 地区内の各種団体が連携・協力して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が広がることにより地域自治の推進が期待できる。 【今後の展開】 地域のまちづくり活動において、コミュニティビジネス的な手法を用いることにより、持続可能な活動を展開する。</p>	

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 重春まちづくり協議会</p> <p>【事業名】 重春まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31</p> <p>【事業費】 219,381円</p> <p>【交付要望額】 110,000円</p>	<p>重春地区は、地域が南部と北部に分かれており、その特質も南部は農業地区、北部は都市部と異なっています。従って、これらを融和することが「まちづくり事業」の根幹として諸事業の推進を図ります。</p> <p>本地区は自然豊かな緑の多い都市化が進む地域であり、新しく住民になられた方々も「地区の良さを知っていただく事」を目的に、地区にシンボルとして「矢筈山と頼政を主とする長明寺」を主な事業の中心として進めています。</p> <p>本地区の内に「野村地区」もあるので、協調しながら事業の推進を図っていきます。</p>	<p>①頼政まつり・歴史ハイキング コロナウイルス感染症の拡大防止のため、規模を縮小して開催（開催済）</p> <p>②景観づくり 地区内のコスモスの生育</p> <p>③矢筈山の整備 登山道の整備</p> <p>④歴史ハイキング 自然豊かな「重春地区の良さ」を感じていただけるハイキングを秋頃に実施予定</p> <p>⑤広報発行 重春地区の情報を広く知っていただくための「広報紙」を発行。他地区へも配送。</p>	<p>【事業の効果】 重春地区内の方々に、「地域の良さ」を知っていただくとともに、これらの事業を実施することにより「親睦と連帯の絆」が生まれる。</p> <p>他地区の方々にも重春地区の事柄を知っていただけると考える。</p> <p>【今後の展開】 昨年度、「獅子王の写太刀」を披露することができて大変良かったと考えており、今後も広めていきたいと考えている。</p> <p>矢筈山の登山者も増えて、遠くからも多く来られるようになり、重春地区のみならず、西脇市の名所として維持や管理に努めていきたい。</p>	<p>地域の歴史的資産である矢筈山の登山路の整備に必要な資材の材料費については、補助率2分の1を超えた補助金で賄えるよう要望する。</p>
<p>【団体名】 野村地区まちづくり推進協議会</p> <p>【事業名】 令和2年度野村地区まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31</p> <p>【事業費】 2,833,600円</p> <p>【交付要望額】 1,071,000円</p>	<p>新まちづくり計画2020である住みよいまちづくりに取り組むため短期的には次の事業を実施する。</p> <p>文化祭、秋祭り、夏祭、8つのサークル活動、敬老会、いきいきサロン、防災訓練、西脇市駅・野村公園などに花植えの花いっぱい運動等</p> <p>中長期的に取り組む事業を「地域自治協議会」を立ち上げ全町民が参画のもと自治活動をより活発なものに取り組む。そのため、今年度は、準備委員会を設立し、勉強会を実施する。</p>	<p>①まちづくり推進 まちづくり活動に関する消耗品費、通信運搬費、保険代等</p> <p>②第2次まちづくり計画事業 「野村地区自治協議会」の検討</p> <p>③運動会 多世代交流を目的に運動会を実施</p> <p>④文化祭 みらいえでの文化祭の開催</p> <p>⑤秋祭り 秋祭りでの住民の交流の推進</p> <p>⑥サークル活動 詩吟、パソコン勉強会、気功、気功クラブ、毛筆サークル、野々華の会、茶道教室、カラオケ（サークル活動）</p> <p>⑦長寿いきいき 野村地区のご高齢者に対する敬老会（いきいきサロン）</p> <p>⑧広報費 年3回（約8,100部発行）する広報紙</p> <p>⑨花いっぱい 西脇市駅、野村公園などに植栽</p> <p>⑩イベント事業 西脇市駅前イルミネーション装飾</p>	<p>【事業効果】 各種事業の実施により、住民同士の連帯感と協働意識の高揚が図れるとともに、各種団体との協働やボランティア活動によって世代間を超えた交流が図れ、親睦と調和が生まれる。また、コミュニケーションが良好になることで地域住民がつながり、野村地区の今後の展望を考える際に、様々な意見を反映し、話し合いがしやすくなる。</p> <p>また、昨年度策定した第2次まちづくり計画が住みよいまちづくりの活動方針となっている。</p> <p>【今後の展開】 今後はより一層、野村地区まちづくり推進協議会の委員がまちづくり活動についての中心的な役割を果たし、野村地区の活動推進組織として進めていく。委員については任期が終了した後も、事業の継承のために活動に参加し、協働を進めていく体制をつくる。</p> <p>事業を実施するもの自身が、活動を楽しみ、喜んで参加できるように自由に話し合える会議（場）をつくり、既存の女性会や民生・児童委員、公民館役員、子ども会などと整合性をとり、野村地区住民のまちづくりへの参画を促進していく。</p>	<p>花いっぱい事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、苗代、肥料代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p> <p>地域自治協議会準備委員会の取組に全額補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 芳田ふれあい会議</p> <p>【事業名】 芳田地区まちづくり推進事業</p> <p>【実施期間】 R2.4.1～R3.3.31</p> <p>【事業費】 1,300,000円</p> <p>【交付要望額】 820,000円</p>	<p>芳田地区では、「芳田地区まちづくり計画の提案書（平成18年度版）」を実践推進するために平成18年8月に芳田地区区長会をはじめ芳田地区内の各種団体が結集して芳田ふれあい会議を結成した。そして、平成27年度末に新たなまちづくり計画である「法太の里“ゆめ”プラン2015」を策定したのを受け、プランの具体化をめざし、芳田ふれあい会議が中核となって、芳田地区のまちづくりを推進してきた。</p> <p>昨年度、芳田地区区長会と芳田ふれあい会議が中心となって、今一度、法太の里“ゆめ”委員会を立上げ、「法太の里“ゆめ”プラン2015」を見直して、今後の芳田地区の具体的指針となる「芳田地区まちづくり行動計画」を策定した。計画では、芳田ふれあい会議に代わり、行動計画を実行し、芳田地区が抱える課題を解決していく組織として、新たに芳田自治協議会（仮称）を設立するとしている。したがって、今年度のふれあい会議は、これまでの事業を展開しながら、芳田自治協議会（仮称）へスムーズに移行できるよう準備をしていく。</p>	<p>①代表者会議 ・2020芳田ふれあいまつり</p> <p>②プロジェクト部会 ・公共交通についての調査研究 ・芳田自治協議会（仮称）への移行準備 ・野間川芳田公園清掃</p> <p>③地域活性部会 ・芳田の里花いっぱい運動 ・芳田ふれあい直売所ふれあいサロン ・芳田ふれあい直売所の充実 ・芳田クリーン作戦</p> <p>④安全・安心部会 ・芳田地区合同防災訓練 ・芳田地区防犯、交通学習会</p> <p>⑤イベント部会 ・芳田街道イルミネーション ・角尾山登山道整備 ・芳田ふれあいスポーツフェスティバル</p> <p>⑥各部会共通 ・まちづくり先進地視察研修 ・総会、各部会の開催</p>	<p>【事業効果】 住民間の交流事業を通して、お互いの連帯感を高めることができ、地区コミュニティの強化が図られ、地域の活性化が期待できる。</p> <p>【今後の展開】 来年度、芳田自治協議会（仮称）を設立する予定。運営の財源としては市の一括交付金を活用していく。</p>	<p>各事業ともに住民参加を広く求め、労力をいただいているが、「芳田の里花いっぱい運動」の花の土、種等については2分の1を超えた額を要望する。</p> <p>また、今年度は芳田自治協議会（仮称）への移行準備を予定しており、そのために必要な人件費・消耗品費等についても2分の1を超えた額を要望する。</p>

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

市民提案型まちづくり事業企画書について、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程に基づき審査を行い、下記のとおり決定しました。

今年度の審査につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、公開プレゼンテーション及び審査部会は実施せず、前年度審査部会委員の方からいただいた意見を参考に審査を行いました。

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助金額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇を学ぶ会	地域文化創生事業	142,760円 (132,000円)	132,000円 (132,760円)	92.4
文字通訳サークルち ょうちょ	音声認識アプリ(UDト ーク)を活用した情報保障 事業	276,950円 (276,000円)	276,000円 (276,950円)	99.6
北はりま障がい者美 術公募展世話人会	第1回北はりま障がい者 美術(アール・ブリュッ トアート)公募展事業	313,080円 (178,000円)	178,000円 (178,080円)	56.8
合 計		732,790円 (586,000円)	586,000円 (587,790円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

まちづくり推進審議会委員からの意見について（一覧）

1 すべての事業に対する意見

委員からの意見	市の考え
<p>○ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で事業を中止する場合、その判断軸と中止に伴う発生費用の取扱い（損失回避の方法）について明確にした方が良いと思います。</p> <p>⇒ 例えば、「中止の場合、原則返還。ただし、不可避免的に中止に伴う費用が発生した場合は補助対象とする」など、中止の場合の補助金の取扱いについて補助対象団体への事前のお知らせをお願いします。</p>	<p>事業の縮小又は中止の場合の補助金の取扱いについては補助事業団体と調整したうえで内容を精査し、交付の可否や額を決定する。</p>

2 各事業に対する意見（市民提案型まちづくり事業）

申請団体名	委員からの意見	市の考え
<p>西脇を学ぶ会 （地域文化創 生事業）</p>	<p>① コロナ下での講演会の参加上限が従来よりも少なくなること、人材育成には長期的の時間を要することから、フロー型の情報発信だけではなく、講演会の映像を記録してSNSなどで公開するなどのストック型の情報発信も同時に行うことも検討いただければ幸甚です。</p> <p>そうすることで、刺激を受ける人をより多く、この事業の効果をより永く続くような効果が得られ、事業目的の達成確度が上がるかと思えます。</p> <p>西脇で生まれ育った人々の人材育成のみならず、本事業での講師を予定されている玉木氏のような西脇で新たにチャレンジする人が集まり同じようにチャレンジすることを通じて人が育つ環境の実現を期待しています。</p>	<p>前年度審査部会委員の意見として、より事業の効果を高めるストック型の情報発信に係る提言について、採択可否決定後に申請団体に情報を共有する。</p>

申請団体名	委員からの意見	市の考え
文字通訳サークル ちょうちょ (音声認識アプリ「UDトーク」を活用した 情報保障事業)	<p>① 市民活動を大切にすることは良い事ですが、事業の恒及性を考えるのであれば、市の障がい者対策事業として予算化し、責任を持つべきではないかと考えます。</p> <p>② 議会中継の字幕配信が必要であるならば、本来は議会が対応すべき事項であると考えますが、市議会のインターネット中継での字幕対応に関して市民団体に委託することができる前提で意見いたします。</p> <p>様々な自治体の議会がYouTubeを利用した議会のライブ配信を行っており字幕も自動生成できるようになっています。YouTubeの字幕生成の精度もまだ課題がありますが、より精度が上がる事が予想されます。</p> <p>UDトーク以外の機能向上などで人を介さずインターネット中継の字幕提供が遠からず実現することを想定すると、活動の量や質が飛躍的に発展することを想像しながら次の展開を考えていただければと思います。</p> <p>備品の購入に関しては、リースという選択肢を検討された結果、購入という手段が合理的であるとの前提での申請であるのかが気になりました。</p>	<p>① 本事業の補助金を活用していただくことで、活動の幅の拡大を担保することができる。現在、文字通訳の活動はボランティア活動として取り組まれているが、活動を進めていく中で、必要に応じ市と連携を図りながら事業の発展につなげていくことを申請団体へ審査意見として伝え、併せて関連する庁内各部署への情報共有を進める。</p> <p>② UDトークの活用は市議会中継に限らず、いきいきサロン等の市民講座にも活用していく内容であることから、購入備品の合理的な活用を努めることを申請団体に伝える。また、備品を購入することで期限を設けずに事業に活用することができるため、団体の継続的な活動につなげることができる。</p>
北はりま障がい者美術公募展世話人会 (第1回北はりま障がい者美術「アール・ブリュットアート」公募展事業)	<p>① 本事業の対象範囲が広く、本事業のどういった点が西脇市のまちづくりに資するのかを明確にさせていただいた方が補助の対象となるかどうか判断しやすいと思いました。</p>	<p>当該事業は、公募展の開催を通し障害のある方への<u>差別解消と合理的配慮の提供・促進</u>につなげることを目的としている。このことは、市の「第2次西脇市総合計画」及び「第3次西脇市地域福祉計画」に合致する項目であり、協働により西脇市の課題解決やまちの魅力の向上を図る事業であるといえる。</p> <p>必要に応じ市と連携を図りながら事業の発展につなげていくことを申請団体へ審査意見として伝え、併せて関連する庁内各部署への情報共有を進める。</p>

実施団体	西脇を学ぶ会 代表 藤本 邦之 (会員10名)					文字通訳サークルちょうちょ 代表 今井 有紀 (会員7名)					北はりま障がい者美術公募展世話人会 代表 小松原 謙介 (会員10名)						
事業名	地域文化創生事業					音声認識アプリ(UDトーク)を活用した情報保障事業					第1回北はりま障がい者美術(アール・ブリュットアート)公募展事業						
事業概要	対象地域	市内全域		実施期間	2.9.1 ~ 2.12.31	対象地域	市内全域		実施期間	2.7.1 ~ 3.3.31	対象地域	市内外全域(北播磨地区全域)		実施期間	2.7.1 ~ 3.3.31		
	予算	¥142,760	要望額	¥132,760	補助対象額	¥132,760	予算	¥276,950	要望額	¥276,000	補助対象額	¥276,950	予算	¥313,080	要望額	¥178,080	補助対象額
事業目的	<p>・西脇の自然、歴史、文化、産業などを深く学ぶことで、地域文化の発展と創造に寄与するとともに、西脇の未来を担う人財の育成をめざす。</p>					<p>・音声認識アプリ(UDトーク)を活用し、市議会インターネット中継の字幕を提供する。 ・現在、音声以外の情報は何も無い状態で配信されているため、耳の聞こえない方に関係なく、誰もが議会を傍聴できるように、市民と市議会をつなぐための情報バリアフリー化を担いたい。 ・加齢性難聴などで出かける機会が少なくなりがちな市民の方へ、字幕付き講座にすることによって社会とのつながりを実感していただくことを目的としている。</p>					<p>・障がい者の方々の美術活動に光を当て、その作品を評価し、多くの市民の方々に鑑賞してもらう。 ・鑑賞を通じて互いのコミュニケーションの充実を図ると共に、障がいのある人の社会参加を促進する。 ・公募展の成功により、障がい者への差別解消と合理的配慮の提供・促進につなげる。</p>						
事業内容	<p>講演会 ①対象者 西脇市民と市内勤務者及び学生 ②とき 令和2年11月22日(日) ③ところ アビカ音楽ホール ④内容 講演会「播州織素材による新製品を世界に」 ⑤講師 玉木 新雌</p>					<p>・西脇市議会インターネット中継の視聴者を対象に、UDトークアプリを使用した文字表出(リアルタイム字幕)を、サークルメンバーで誤認識文字修正しながら配信する。 ・いきいきサロンなどの市民講座にUDトークを使用した字幕を提供する。</p>					<p>公募期間： 令和2年9月1日～令和3年3月6日 作品審査： 令和3年3月7日 展示会： 令和3年3月9日～14日 対象： 北はりま地区に在住又は勤務されている15歳以上の障がいのある方 ・令和2年9月以降に案内を障がい者施設、学校、個人に送付する。 ・令和3年3月6日に展示会場へ搬入、市民アーティストによる審査を経て、全作品を市民に公開、展示する。展示は西脇市内で行う。 ・取組を広報、新聞等で周知する。</p>						
事業効果	<p>・今回の企画では、衰退する播州織物業界の中であって、新製品「ストール」を開発し国内のみならず、世界20か国に輸出する玉木新雌氏が、受講する市内3つの高校生や若年層に直接伝えることにより、「自分たちも努力と研鑽研究次第で玉木氏のようになれるのでは」とアパレルやファッション界へ進む受講生を増やし、「西脇」の伝統産業のブランディングを進めることにつなげることができる。 ・播州織関係受講者には、新製品開発の重要性和播州織新製品に未来と希望があることを伝えることができ、播州織を通じた地域活性化につなげることができる。</p>					<p>・聞こえる人が簡単にアクセスできる情報を、気兼ねなく聞こえにくい人・聞こえない人もアクセスできる。(機会平等性の担保、社会参画の促進効果) ・市議会インターネット中継に字幕がつくことで、閲覧できるようになる市民が増え、議会運営に興味を持ってもらえる。 ・UDトークは、スマホさえ持っていれば誰でも無料で使用できるアプリ。UDトークアプリが周知されることにより、普段の生活においても、聞こえる人・聞こえない人との間のコミュニケーションツールとして使っていただける。</p>					<p>・現在、障がい者アートに対する認識はまだ低く、「アール・ブリュットアート」という言葉さえ、北はりま地区では知らない人が多い実情である。 ・今回第1回公募展の初めての取組を通して、障がいを持ちながらも美術活動をしている方々に光を当て、その作品の素晴らしさを公開展示することを通じ、この分野への理解が広がることを期待される。 ・障がい者の方々の社会参加を促し、差別解消につなげる。</p>						
事業の特色	<p>・これからの社会を担っていく人財に、アイデアと実行力があれば、これだけの成果が挙げられることの証明者が熱意をもって語る。 ・司会、受付などの運営から市内の学生に関わってもらう。</p>					<p>・市議会インターネット中継を利用し、オンラインで字幕配信が可能 ・要約筆記派遣を依頼できる障害者手帳を取得するには、高度難聴以上の厳しい条件が必要となり、耳が聞こえにくくても仕方がないこととして諦めている方がたくさんいる。手帳所持の有無ではなく、誰でも簡単に情報を得られるところが、この事業の最大の特徴。 ・参加したい講座に字幕がつくことで、配慮があるという安心感や、聞こえにくくなっていることで疎外感や孤独感を抱えている方の社会参加を後押しする。 ・様々な場面でUDトークを知ってもらうことで、文字通訳による情報保障がいつでも、どこでも必要であることを市民に知ってもらう啓発活動の役割もかねている。</p>					<p>・障がいを持っていても、その作品は素晴らしく、アートとしての価値のある作品がある。 今回の取組は、埋もれている作品に光を当て、障がい者アーティストの皆さんを大きく励ますことができる。 ・作品の審査に市民アーティストが自ら関わることで、アール・ブリュットアートの素晴らしさに気付き、障がいを超えた交流が生まれる。 ・取組を通して障がい者の方々を支援しようとする市民の方々の協力関係が生まれる。 特に入賞者への副賞金は、市民のカンパによって支える。</p>						
今後の展開	<p>・西脇の豊かな歴史と文化を継承し、市民の「もっと知りたい!西脇」を標榜し、それぞれの文化活動から、この「西脇学」を通じ西脇への熱い想いを発信する。 ・文化を大切に、ふるさとを愛する人が集うまちづくりに貢献し、広く西脇の文化行政向上発展と、西脇を背負って立つ人を育てることを目的に事業を展開する。</p>					<p>・UDトークは、話し言葉を文字化するだけでなく、音声認識した文字を読み上げる【視覚聴覚バリアフリー機能】や、多言語音声認識・翻訳により外国籍の方でも利用しやすい【多言語バリアフリー機能】、漢字・かな変換・手書き入力による【世代間バリアフリー機能】とさまざまな活用方法がある。 ・将来的には、市・議会・教育委員会でもUDトークを契約してもらい、子どもから高齢者の方まで、国籍を問わずあらゆる社会的障壁を超える、コミュニケーション豊かな西脇市になるよう、まちづくりの一貫を担いたい。</p>					<p>・第1回の公募展が成功すれば、第2回、3回と経験を活かして継続させていきたい。 ・第1回の優秀な受賞者の方々との交流を進め、グループ展や個展等につなげていきたい。 ・障害のある子どもたちの作品にも光を当てていきたい。 ・アール・ブリュットネットワーク事務局(滋賀県民生活文化振興課)等と連絡を取り、全国的な活動とも連携していきたい。</p>						